

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 中山間ふるさと・水と土保全推進事業 事業実施計画について

令和3年7月27日(火)
滋賀県 農政水産部 農村振興課
地域資源活用推進室

■ 中山間ふるさと・水と土保全対策事業の概要

(ふるさと・水と土保全基金)

○趣旨

農業・農村の多面的機能の発揮と集落共同活動の活性化を図るため、「ふるさと・水と土保全基金」を造成し、その運用益等により地域住民活動を推進する人材の育成、施設の利活用および保全整備等の促進に対する支援を行う(H5から実施)。

○滋賀県の基金

県基金事業

- ・ふるさと・水と土保全基金 基金造成額:8.6億円(H5~H9)
(国補助:6.69億円<国1/3,県2/3> 県単独:1.91億円)
基金条例 平成5年10月15日施行
基金残高 令和2年度末:7.13億円
- ・5年ごとの事業計画を作成して事業を実施

■ 中山間ふるさと・水と土保全推進事業の概要

(棚田地域水と土保全基金)

○趣旨

棚田地域の多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図るため、「棚田地域水と土保全基金」を造成し、その運用益等により都市住民等の活動参加ネットワークの構築・運営、地域住民活動を推進する人材の育成、施設や農地の保全および保全整備等の促進に対する支援を行う。

国の事業

県における保全対策、推進方策の検討、国内外の先進事例の調査研究等



指導・連携

県基金事業

・棚田地域水と土保全基金

基金造成額:4.5億円 (国1/3、県2/3:H10~H12)

基金残高 令和2年度末:4.0億円

■ 事業実施計画（R2～R6）

事業実施の基本方針

中山間地域等直接支払制度等の活用と合わせ、「滋賀県中山間地域振興の手引き」に基づき、集落への助言や活動支援、人材の育成、企業や大学等との協働活動の推進、関係人口増加のためのPR等を通じて、中山間地域に対する総合的な支援を実施。

目指す姿

- ・地域を牽引する人材が育成され、地域資源を活かした住民主体の活動が各地で展開される。
- ・中山間地域における協働活動やボランティア活動に参加する企業や大学、都市住民といった関係人口が増加する。
- ・これらを通じて中山間地域が活性化し、農地等が保全され多面的機能が発揮される。

■ 事業実施計画（R2～R6）

事業

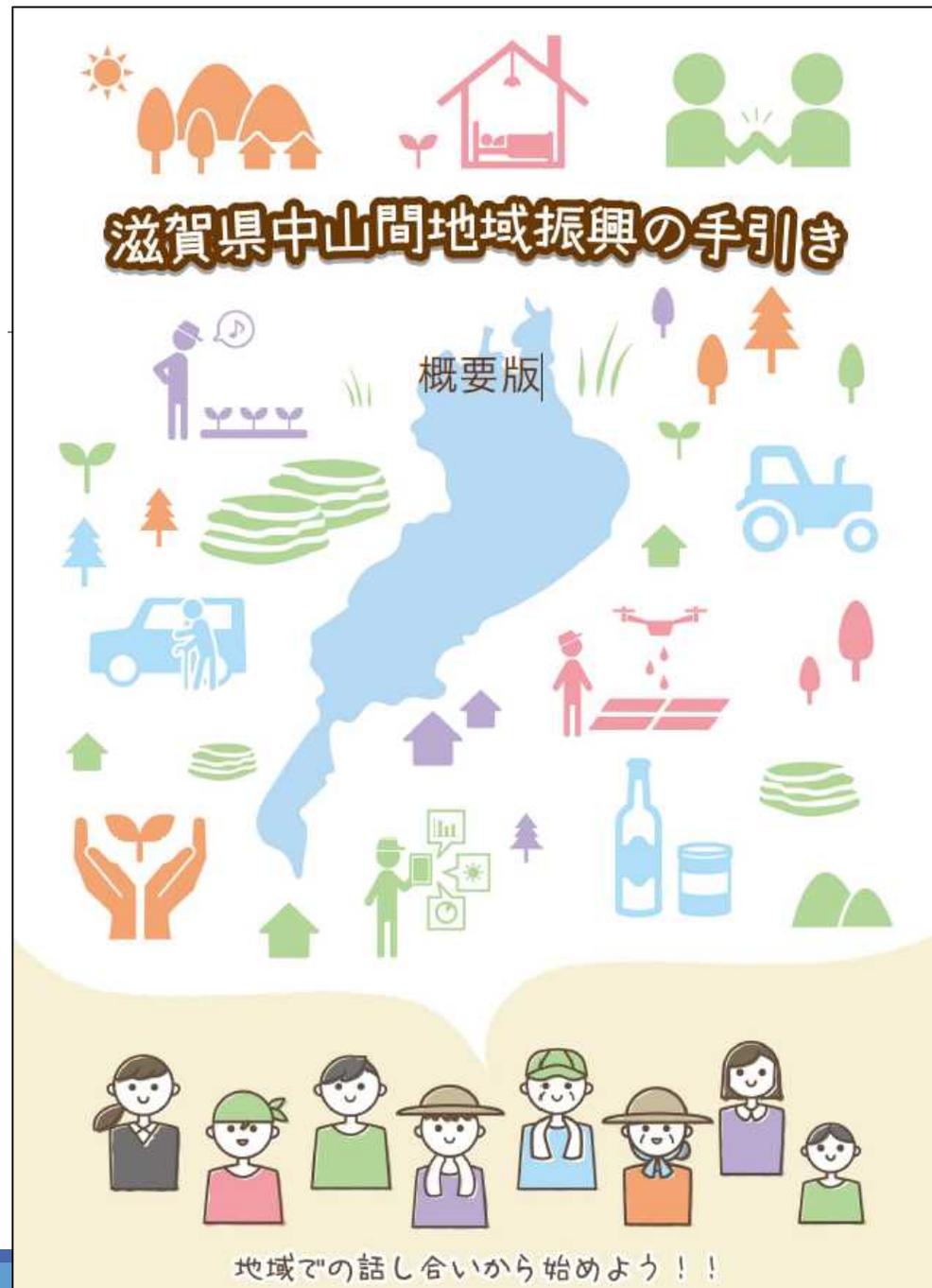
1. 中山間地域振興指針の作成と活用
2. 中山間地域の人材育成
3. 中山間地域における活性化の取組の推進
4. 棚田の保全および地域の振興

■ 令和2年度の取組・実績

事業名	事業内容	当計画における成果目標		実績
1. 中山間地域振興指針の作成と活用	「滋賀県中山間地域振興の手引き」に基づき助言・支援を行うための体制整備を行う。	「滋賀県中山間地域振興の手引き」の策定	手引き策定1	策定1
2. 中山間地域の人材育成	地域住民活動を推進する人材を育成する。	人材育成	10人	25人
3. 中山間地域における地域活性化の取組と推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体との協働活動による活性化の取組(しがのふるさと支え合いプロジェクト)を拡大する。 ・中山間地域活性化の取組を広くPRする。 	多様な主体と協働して活性化の取組を行う地区数(協定締結数)	協定5	協定5
		情報発信回数	PR誌発行年2回	2回
4. 棚田の保全及び地域の振興	棚田の魅力発信やボランティア参加の募集および保全活動支援の実施	効果と課題調査の実施	9地区	9地区
		ボランティア参加者数	200人	118人

1. 中山間地域振興指針 の作成と活用

集落自らが地域の魅力に焦点を
当てた振興策に取り組むための
「中山間地域振興の手引き」を作成



2. 中山間地域の人材育成(さとのかせ倶楽部)



事業計画づくりワーク
ショップ (R2東近江会場)



リーダー人材育成研修最終会
(R2甲賀会場)

3. 中山間地域における活性化の取組の推進



高校との連携 (R2甲賀市上野川)



協定締結式の様子
(R2つどい×布勢町)



PR誌の発行

3. 中山間地域における活性化の取組推進

取組の紹介…しがのふるさと支え合いプロジェクト



3. 中山間地域における活性化の取組推進

取組の紹介…R2しがのふるさと支え合いプロジェクト協定締結団体

株式会社パソナ農援隊

⇔ 鷺川棚田保存会

- ・棚田保全、地域振興策の検討



【高島市】

株式会社パソナ・滋賀

⇔ 明日の走井を考える会

- ・棚田保全、都市農村交流



【栗東市】



認定NPO法人つどい

⇔ 布勢町自治会

- ・棚田保全、都市農村交流



【長浜市】

株式会社あぐりきっず

⇔ 山女原棚田ボランティア委員会

- ・クルミ栽培、棚田保全



【甲賀市】

湖南農業高校 ⇔ 宮ベリー

- ・ブルーベリー栽培、活性化策検討



【甲賀市】

4. 棚田の保全及び地域の振興

棚田ボランティア制度

2020年4月～2020年7月 **参加者募集中!**

しが棚田ボランティア

未来へつなく棚田のバトン

山の斜面や谷間などの傾斜地に階段状に作られた棚田。それは私達の食料生産の場だけでなく、美しい景観や様々な生きものの宝庫でもあります。また、洪水などの災害から国土を守る機能も果たし、私たちの生活を支えています。今、棚田がある中山間地域では人口減少や高齢化が進み、草刈りなどの維持管理が大変難しくなっています。都市などに住む人々にも様々な「めぐみ」をもたらす棚田、この大切な場所を未来へつなごう！

お問い合わせ 滋賀県 農政水産部 農村振興課 TEL: 077-528-3961
 〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 FAX: 077-528-4888
 Email: gh01@pref.shiga.lg.jp

ホームページ おうみ棚田ネット 検索

Facebook しがの農業農村 検索

詳細な活動内容は、滋賀県庁ホームページ内「**おうみ棚田ネット**」でご覧いただけます!!

ボランティア参加の注意事項

- 参加者全員を対象に、活動団体に傷害保険に加入します。
- 活動への参加は、国外で作業できる方を募集します。
- 現地までの交通費、食費などの必要経費は自己負担をお願いします。

※詳細は滋賀県農政水産部農村振興課までお問い合わせください。

「しが棚田トラスト制度」にご協力ください

一長活動を継続し、美しい棚田を将来へ引き継ぐために「しが棚田トラスト制度」とは、年々劣化が進む県内の棚田を保全するため、棚田地域の住民とボランティアが一体となって取り組む棚田保全活動に、ご賛同いただける企業や個人から寄附金を募り、これを保全活動の資金として活用する制度です。集まった寄附金は、作業に必要な資材や消耗品の購入、活動運営に係る経費など、棚田地域にとって直接的な支援となり、保全活動に活かされます。国民共有の財産である棚田を守るため多くのおみなさまのご協力をお願いします。

一寄附の特典 「HPやチラシへの広告掲載」「地域通貨プレゼント」などの特典があります!

※県費等110,000円以上お預けいただいた方には以下の特典があります。
 ・「滋賀県立自然博物館観覧券」を1名様につきお礼呈呈 (数量15名まで)
 ・企業等の団体の場合は、HP「おうみ棚田ネット」や本チラシへの広告掲載
 各地区の詳しい活動内容(日時・作業・交通手段等)は「おうみ棚田ネット」またはFacebook「しがの農業農村」でご確認ください。

ウェブサイト「おうみ棚田ネット」: <http://www.pref.shiga.lg.jp/ppan/shigotasanyou/nouyou/nousonshinkou/18629.htm>
 facebook 「しがの農業農村」: <https://www.facebook.com/shiganouson/>

お問い合わせ先: 滋賀県 農政水産部 農村振興課
 TEL: 077-528-3962 E-mail: gh01@pref.shiga.lg.jp

4. 棚田の保全及び地域の振興

棚田ボランティア制度の運営

畑地区

・棚田百選に選定された棚田を保全するため、休耕田の草刈り等を実施
【高島市】

平尾地区

・棚田オーナー制度を始めとした棚田の保全活動を実施



【大津市】

上仰木地区

・大学と連携し草刈り等の棚田の保全活動を実施



【大津市】

森西地区

・草刈りや水路清掃、電気柵の補修等の活動を実施



【高島市】

あけびはら 山女原地区

・クルミの植栽やヒマワリの栽培、カブトムシドームの運営



【甲賀市】



4. 棚田の保全及び地域の振興

棚田ボランティア制度の運営

鶺川地区

- ・耕作放棄田を復旧させ、棚田オーナー制度等による保全活動を実施



【高島市】

はしり

走井地区

- ・草刈りや紫陽花ロードの整備のほか、地域で収穫祭を開催



【栗東市】



池原地区

- ・大学と連携し草刈り等の棚田の保全活動を実施



【長浜市】

小泉地区

- ・耕作放棄田の復旧等の棚田保全活動の他、体験メニューの提供



【米原市】

4. 棚田の保全及び地域の振興



しがの棚田に
行ってみよう



啓発パンフレット



鶯川 (LUKAWA)

所在地 滋賀県高島市
 棚田枚数 約500枚(約15.4ha) 平均勾配 約1/13
 主産品 米
 農作業時期 代かき: 4-5月 田植え: 5月
 稲刈り: 9月 脱穀: 9月

注釈ポイント

【鶯川の棚田】は高島市の屋敷砂、琵琶湖の西岸に連なる比良山系の麓に位置しています。湖中の島群で知られる「白鷺神社」が近くにあります。棚田と琵琶湖の距離が非常に近いのが特徴的で、棚田から見下ろす琵琶湖の景色はまさに絶景。「鶯川の棚田」で穫れた美味しい棚田米は国道161号沿いに建つ直売所「うかわファームマーケット」で販売中です。

地元「鶯川棚田保存会」は棚田オーナー制度や棚田ボランティア制度に取り組み、また、平成30年からは栗樹の栽培も始め、農地の荒廃が進まないよう維持・保全に取り組みられています。

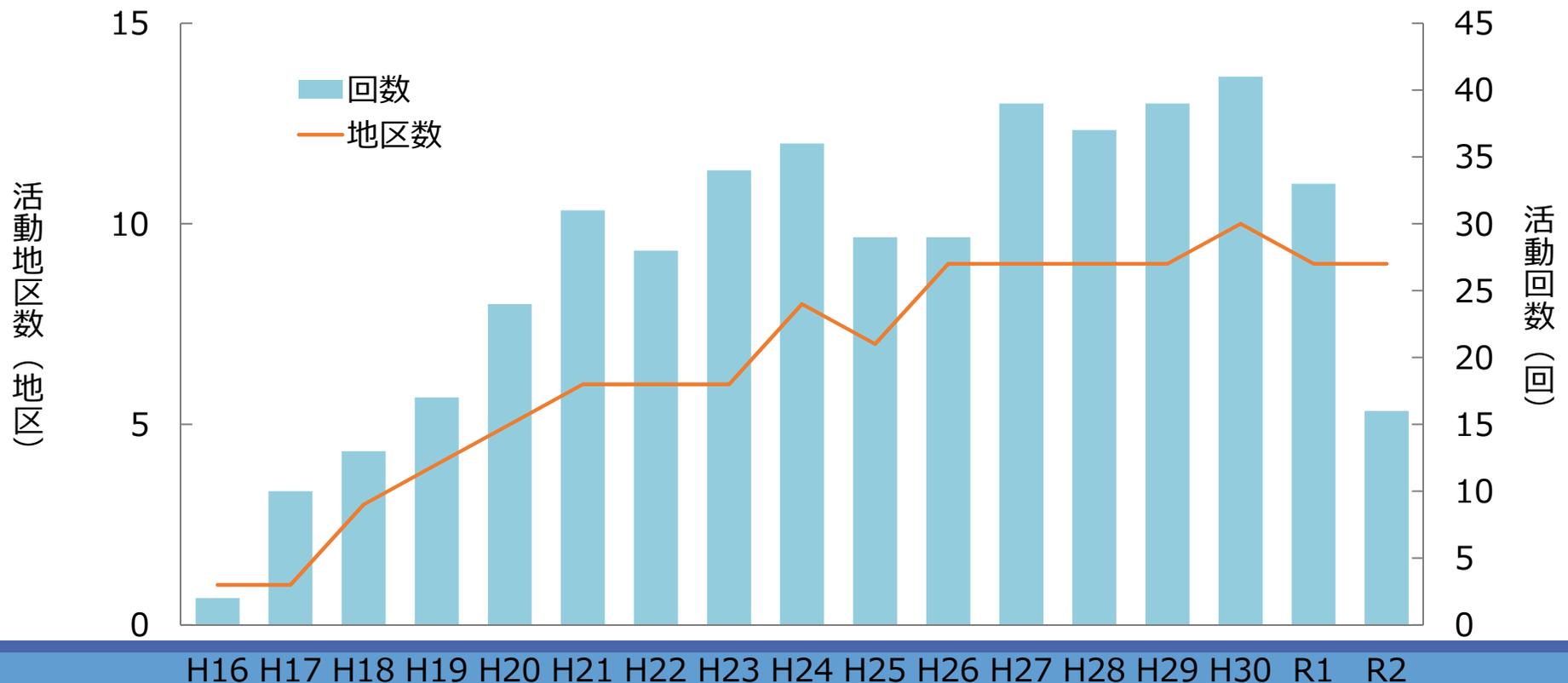
QRコード

棚田カード No. 25-05-令和3年4月

棚田カード

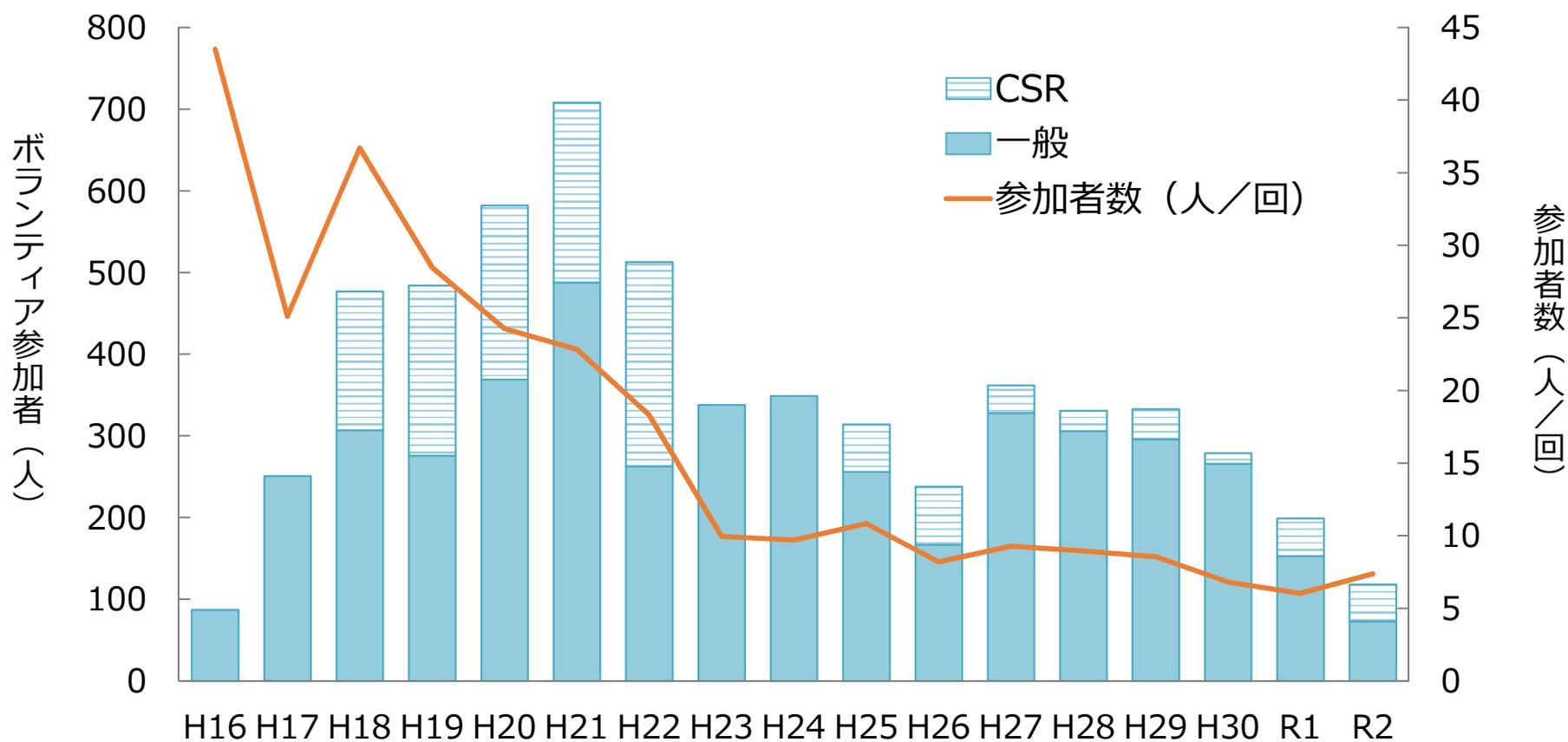
■ 棚田ボランティア活動地区数と活動回数

- 活動地区数: 累計12地区 (R2年度 9地区)
- 活動回数: 累計458回 (R2年度 16回)
- R2年度は新型コロナウイルスの影響で活動回数が減少



■ 棚田ボランティア活動参加者数

- 累計 5,963人 うち、一般参加者 4,573人
企業・大学等 1,390人

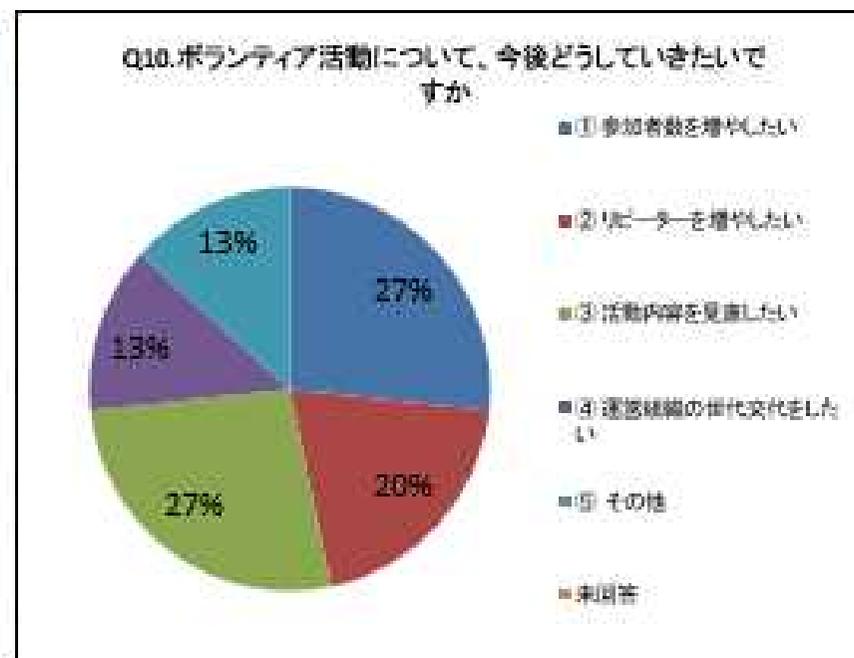


4. 棚田の保全及び地域の振興

地区の課題調査と今後の支援策の検討

Q10. ボランティア活動について、今後どうしていきたいですか

項目	人数	割合
① 参加者数を増やしたい	4	27%
② リピーターを増やしたい	3	20%
③ 活動内容を見直したい	4	27%
④ 運営組織の世代交代をしたい	2	13%
⑤ その他	2	13%
未回答	0	0%
合計	15	100%



4. 棚田の保全及び地域の振興

地区の課題調査と今後の支援策の検討

指標	基準値	目標値	年度ごとの実績					基本計画
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
棚田ボランティア参加者数の増加	5,845	累計 1,600	200人(累計200人)	240人(累計440人)	320人(累計760人)	390人(累計1,150人)	450人(累計1,600人)	490人

事業実施計画目標値の設定

棚田ボランティア制度を活用している各地域からボランティア参加者要望数を聞き取り計画に落とし込み。

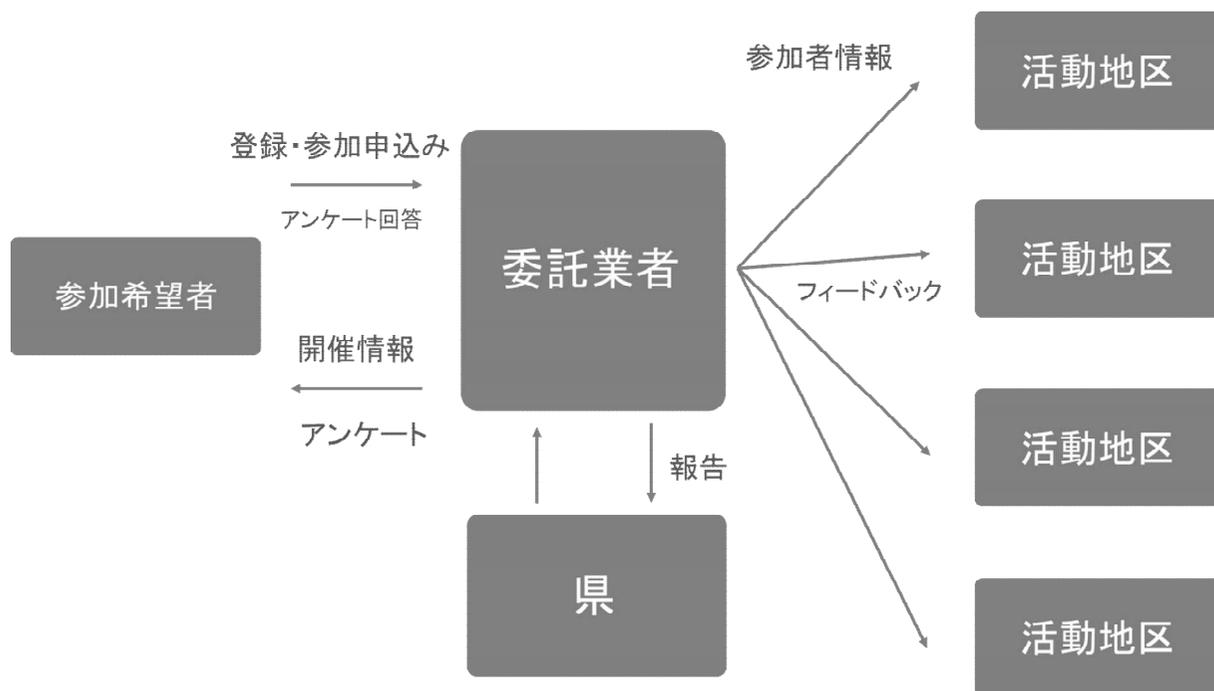
参加者数を増やしたい、リピーターを増やしたいという声も多く、どのような支援があればボランティア参加者数を維持もしくは増やしていけるのか検討。

4. 棚田の保全及び地域の振興

地区の課題調査と今後の支援策の検討

○趣旨

棚田ボランティア参加希望者へ情報を円滑に伝達するとともに、リピーターを増やすため棚田ボランティア登録制度を創設・運営する。あわせて、活動地区に対する助言を通じて、活動内容の魅力向上を図る。



4. 棚田の保全及び地域の振興

地区の課題調査と今後の支援策の検討



みんなで棚田を守ろう!

たな友

募集中

◎登録済 募集中

私たちも棚田の美観を守るお手伝いをして、おいしいお米を食べたい!

■ 令和3年度事業実施計画

事業名	事業内容	当計画における成果目標	
中山間地域振興指針の作成と活用	「滋賀県中山間地域振興の手引き」に基づき助言・支援を行うための体制整備を行う。	手引きに基づく相談対応	入り込み 3集落
中山間地域の人材育成	地域住民活動を推進する人材を育成する。	人材育成	10人
中山間地域における地域活性化の取組と推進	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体との協働活動による活性化の取組(しがのふるさと支え合いプロジェクト)を拡大する。 ・中山間地域活性化の取組を広くPRする。 	多様な主体と協働して活性化の取組を行う地区数(協定締結数)	4地区
		情報発信回数	PR誌発行 年2回
棚田の保全及び地域の振興	棚田の魅力発信やボランティア参加の募集および保全活動支援の実施	支援策の検討 実施	
		ボランティア参加者数	240人